

第8回明専スクールに参加して

工学府建設社会工学専攻M2 松元 絵美



明専スクールへの参加

私は建設社会工学専攻の建築コースに所属しているのですが、同科のOBの方が少なく、これまでも建築のOBの方がいないことから、明専塾などの講演会や交流会とは自分には全く無縁であり、今回の明専スクールも研究室の教授に勧められたので参加させていただき、最初は正直面倒くさいという気持ちが大きかったです。しかし、明専スクールでの3日間を通じて得た経験は貴重であり、自信を持って社会人になるためのスタートが切れたと思える非常に内容の濃い時間になりました。

講義に関して

明専スクールでは、様々な分野で活躍されているOBの方からの貴重な講義を受けることができました。講義の中では、春から社会人になるうえで大切なことや働き方、モチベーションなど、これから自分が働いていくイメージや他の場では身に付けることができないことを数多く学ぶことができました。

出張報告書とグループ討議

出張報告書の作成は明専スクール1日目終了後の課題として、その日の講義が有益であったかどうかを判断し、報告書として上司に提出するという想定のものでした。最初に提出した時はOBの方からの添削やコメントが非常に多く、ショックだった印象があります。しかし、OBの方からどこを改善したら良いかや書き方のコツなど、何度も添削しながら教えていただき、自分としても非常に勉強になり、最終的に納得のい



グループ討議の様子

くものを提出することができました。グループ討議が始まる前は、他学科学生とのグループワークはうまくいくのかなと不安に思っていました。しかし、グループワークが始まれば、それぞれが考えてきたことをグループで活発に議論でき、分らないところや納得がいかないうところは何度も話し合いを重ねるなど、みんなが1つの課題に対して真剣に取り組むことができました。また、グループの代表として発表するのは非常に緊張しましたが、発表中もグループのメンバーがサポートしてくれたので、しっかりと発表でき、最優秀賞をいただくことができました。メンバーの方々にはとても感謝しており、メンバーと共に非常に貴重な体験ができ



グループ討議のメンバー

たことは、社会に出てからも自分の糧になると感じました。今回明専スクールに参加していた学生は、皆さんとても素晴らしい企業から内定をいただいた方ばかりで、自分はまだまだだなと感じる瞬間も多くありました。このような方々と一緒に活動できたこと、OBの方から貴重な話を聞いたことなど、明専スクールで多くのことを学びました。この貴重な経験を生かして、春から新社会人として働くだけでなく、後輩にもこのような経験を伝えていきたいなと感じました。

(平成30年12月記)
(株)ジェイアール西日本ビルト 内定